



t
design & art festival 2022

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

DESIGNART TOKYO 2022 REPORT

DESIGNART TOKYO 2022 報告書



CONTENTS

目次

- 02 CONCEPT**
コンセプト
- 03 RECORD**
実績
- 04-05 EXHIBITIONS**
展覧会
- 06-08 OFFICIAL PROGRAMS**
オフィシャルプログラム
- 09 AWARDS**
アワード
- 10 CREATIVE CONFERENCE BRIDGE**
クリエイティブ カンファレンス ブリッジ
- 11 EVENTS**
イベント
- 12 SALES RECORD**
販売実績
- 13 EXHIBITORS**
出展者
- 14 OPENING CEREMONY**
オープニングセレモニー
- 15 TOOLS**
制作物
- 16-19 ONLINE CONTENT**
オンラインコンテンツ
- 20-23 PRESS**
掲載実績
- 24 CREDIT**
クレジット



CONCEPT

コンセプト

今年のテーマ

TOGETHER

融合する好奇心

What

DESIGNART TOKYOとは

「INTO THE EMOTIONS ～感動の入口～」をコンセプトに、2017年にスタートしたデザイン&アートフェスティバルです。世界屈指のミックスカルチャー都市である東京を舞台に、世界中からインテリア、アート、ファッション、テクノロジー、フードなど、多彩なジャンルをリードする才能が集結し、都内各所で多彩な展示を開催します。

各展示を回遊しながら街歩きが楽しめるこのイベントは、気に入ったらその場で購入可能な作品が多いのも大きな特徴。また会期中、国内外のクリエイティブ関係者が交わることで想像を超えた化学反応が生まれ、新しいプロジェクトに発展したり、期待のホープが世の中に羽ばたくきっかけになることも少なくありません。

サステナビリティが常識になり、「つくる責任 つかう責任」が問われるなか、クリエイティブなものづくりは、これからの社会を支える原動力です。日々の暮らしに、長く愛せるデザイン&アートで潤いを。東京の街全体がミュージアムになるDESIGNART TOKYOは、そんなかけがえのない出会いや感動をポスターにつないでいきます。

Outline

開催概要

主催

デザイナーートーキョー実行委員会

期間

2022年10月21日（金）～30日（日）

参加者団体

国内外から集まるデザイナー、アーティスト、プロジェクト、ブランド、企業、ショップなど

ターゲット

国内外から東京に集まる流通関係者、企業、バイヤー、プレス関係者、デザイン、アートなどに関心のある一般消費者、学生など

Venues

会場

表参道・外苑前・渋谷・原宿・六本木・広尾・銀座などに位置する65箇所（92出展者）の商業施設やインテリアショップ、ギャラリーなど





RECORD

実績

来場者数はのべ20万人
未来のクリエイティブを牽引するクリエイターの展示を通して、発想の原点や独自の視点に触れた10日間。

来場者数

のべ204,300人

Web&SNSコンテンツ

約258万ビュー

(8月18日～11月25日)

メディア掲載数

528記事

(11月28日 時点)

会場数

65会場

出展者数

92組

参加クリエイター&ブランド数

約300名

マッチング数

53組

オフィシャルポスター発行部数

500部

オフィシャルガイドマップ発行部数

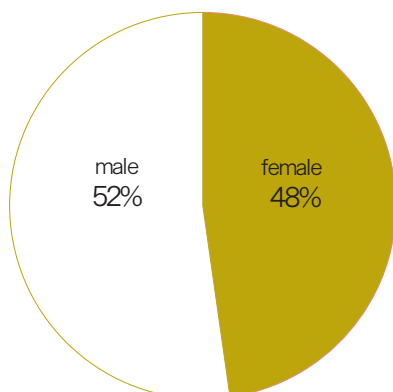
30,000部

実施オンラインコンテンツ

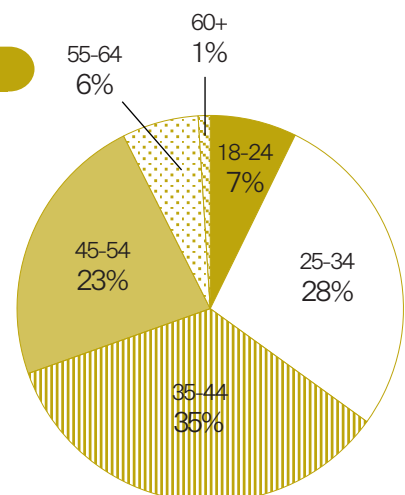
- ・出展者動画インタビュー (YouTube、Instagramなど)
- ・オンラインマップ (Google Map)
- ・ライブレポート (Instagram)
- ・ベストレポートチャレンジ (Instagram)

SNSフォロワー属性 *Instagram、Facebookの平均値

性別



年代





t design & art festival 2022

w www.designart.jp

m info@designart.jp

EXHIBITIONS PLAN A

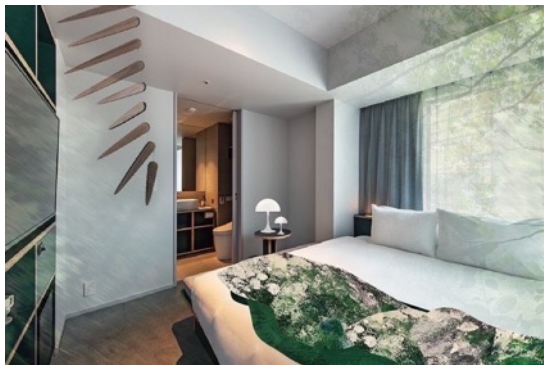


出展者 プランA

FEEL HOTEL TOGETHER

at all day place

ホテルall day place shibuyaを会場にしたインスタレーションを開催。レセプションや客室での展示のほか、宿泊できる展示客室も。



Ritzwell

30th Anniversary Edition (RIVAGE EASY CHAIR / JK EASYCHAIR)

30周年を記念し、特別仕様のRIVAGE EASY CHAIRとJK EASY CHAIRを発表。会期中は職人による手縫いのプレゼンテーションを披露。



The Future Eternal - 未来への轍

at ア・ライトハウス・カナタ

日本の未来を担う若手作家20名の作品を展示。異なる素材と卓越した技術が空間を彩った。



Who the Bær at PRADA Aoyama

プラダ財団が後援するサイモン・フジワラによる展覧会。気候危機から文化盗用、美容整形からポップアートまで数々のテーマで展示を展開。



“DISSECT” Satoshi Kawamoto × Ambientec

at LIGHT BOX STUDIO AOYAMA

プラントアーティスト川本諭との初のコラボレーション展示。田村菜穂によるTurnシリーズの新作の発表も行った。



ジュリアン・オピー個展

at MAHO KUBOTA GALLERY

ジュリアン・オピーのダンスを主題とした5点の映像作品と、8点のペインティングの新作展示。



EXHIBITIONS PLAN B&C

出展者 プランB（または会場提供）&C

マッチングにより展示を実現



VENUE ONLY +

展示場所をご用意



ARTWORK ONLY

作品をご用意

Yamamoto Daisuke — “FLOW”

at TOKYO MIDTOWN 2F

インテリアデザイナー山本大介による廃棄資材のLGS（軽量鉄骨）を再構築した流動するマテリアルサイクル“FLOW”を展示。



O'Tru no Trus

at THE ANOTHER MUSEUM ARTIDA OUD

ジュエリーブランドARTIDA OUDの店舗兼ショールームTHE ANOTHER MUSEUMで、O'Tru no Trus による真鍮や海の漂流物を用いたオブジェを展示。



COSONCO QS — First Exhibition

at Polygon Aoyama

デザイナーに倉本仁を迎えたカンディハウスとソメスサドルによる新ブランド「COSONCO QS」の初となる展示。



Studio POETIC CURIOSITY — ウィンド・ウィスパラー：言葉を風に乗せる

at ブルーボトルコーヒー渋谷店

デザインスタジオStudio POETIC CURIOSITYによる体験型展示。作品に言葉を吹き込むとシャボン玉へと変化する作品。



UO — OMOTESANDO REPLICA

at 表参道ヒルズ

デザインスタジオUOによるインスタレーション。表参道ヒルズの前で拾った枝を2000本に複製・連結した幻想的な大型作品の展示。

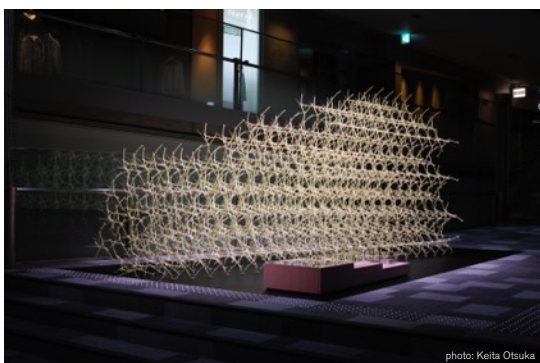


photo: Keita Otsuka

石巻工房 — 2days at Ishinomaki Laboratory

at KAISU

建築家芦沢啓治が代表をつとめる石巻工房による7人のデザイナーが石巻工房に2日間滞在し、製作した作品を展示。

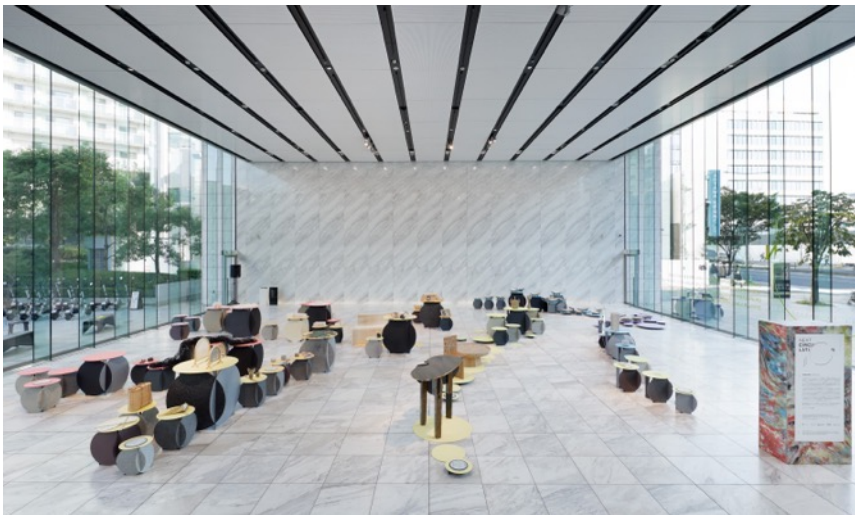


OFFICIAL PROGRAMS

オフィシャルプログラム

NEXT CIRCULATION ~Sustainability & Technology~ at WORLD Kita Aoyama

メインエキシビジョン「NEXT CIRCULATION」では、リサイクルやアップサイクルの“その先まで”を見据えて、サステナブル×テクノロジーを基軸とするエキシビジョンを開催。テーマに合わせ、展示台となる什器にも廃棄衣類繊維アップサイクルボード「PANECO®」を使い、建築家/プロダクトデザイナーの板坂諭により、かつて林や森であった北青山に存在していたであろう大樹を模した印象的な空間デザインを演出。それらはCo2の排出量を抑えるバイオペイントで色付けされ、秋の日差しを浴び色鮮やかな空間を創り出していました。海外からは台湾のサーキュラーデザインを後押しする機関「台湾デザイン研究院（TDRI）」主催の特別企画展「the SP!RAL」や、イスラエル人デザイナーのOrna Tamir Schestowitzが手がける「Seeds of Heritage」等が参加。国内外からクリエイティブなデザインを併せ持つサステナブル素材・アップサイクルによる作品等が並びました。



空間構成：板坂諭

参加クリエイター：台湾デザイン研究院、Landloop×GELCHOP / BCXSY、
OrnaTamirSchestowitz、狩野佑真、小関隆一、OKURAYAMA STUDIO×KAARON
STUDIO、吉添裕人、3710Lab×本多沙映、板坂諭

協賛：株式会社ワールド、DFNS

協力企業：株式会社ノムラメディアス、PANECO® (株式会社ワークスタジオ)、武蔵
塗料ホールディングス株式会社、株式会社GLORY、株式会社リマール

「デザイン&マテリアル」「リレーション」「エデュケーション」をキーワードに、木材資源として価値のない小径木や枝葉、樹皮、実などを有機溶剤・VOCを一切使用しない完全水性アクリル樹脂と混ぜ合わせ製作した狩野佑真による作品や、遺伝子操作などを行っていないイスラエルの在来種の姿を器に投影したOrna Tamir Schestowitzによる作品、子どもたちが読み解いた海洋ゴミ／モノの詩を展示した3710Lab×本多沙映に作品など、DESIGNART TOKYOが考える未来のクリエイティブの提案となった。



OFFICIAL PROGRAMS

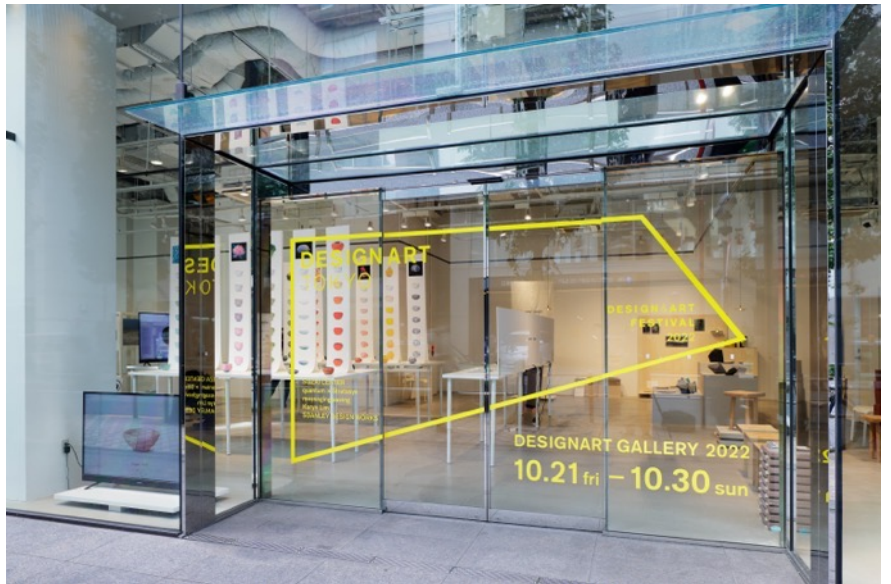
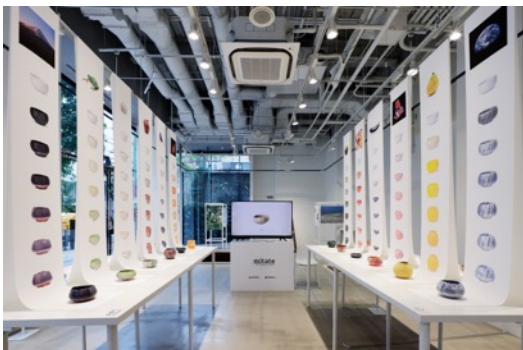
オフィシャルプログラム

DESIGNART GALLERY

at Hz Shibuya

Hz ShibuyaでおこなわれたDESIGNART GALLERYは、U30の受賞者であるKaryn Limとmessagingleaving(Chialing Chang)をはじめとした国際色豊かな若手クリエイターの作品が集合しました。株式会社KOMORUとプロダクトデザインを手掛けるM&Tが共同設立したSOZAI CENTERは、津軽地方の風土と素材に着目し、廃棄予定のりんごの残渣を活用したあたらしい素材「ADAM」を用いた作品の展示を行いました。quantum × Stratasysによるmitate : AI design projectは、器の画像を学習した画像生成系AIに、野菜や動物、風景画像などのあらゆるモノの画像を入力し、AIがどのように「見立て」を行い実在しない器を生成するのかという実験的な展示を行い話題の展示となりました。会場となったHz Shibuyaは渋谷パルコのすぐ隣という好立地であり、ガラス張りのウィンドーは作品の視認性も高く、高感度な若者など多くの人の目に止まる展示となりました。

参加クリエイター：SOZAI CENTER、SDANLEY DESIGN WORKS、messagingleaving(Chialing Chang)、Karyn Lim、quantum × Stratasys





OFFICIAL PROGRAMS

オフィシャルプログラム

OFFICIAL CHAMPAGNE

Perrier-Jouët

今年もDESIGNART TOKYOのオフィシャルシャンパーニュとして、200年余の歴史を誇る至高のシャンパーニュメゾン、ペリエ ジュエが開催に華を添えました。

会期中には東京ミッドタウンのISETAN SALONEにてフランス出身のアーティスト、ガランス・ヴァレがペリエ ジュエのために制作した「Planted Air 大地から空へ」を世界に先駆けて初公開。空間や自然に私たちがどう向き合っていくべきかを問う、没入体験型の展示を開催しました。また、期間限定の「ペリエ ジュエ プラン・ド・プラン」byリミテッドエディションの先行発売も行いました。



OFFICIAL CAFE

Blue Bottle Coffee

今年もDESIGNART TOKYO 2022オフィシャルカフェとして「BLUE BOTTLE COFFEE」の青山、渋谷、六本木、銀座、恵比寿の5店舗にて展開。会期中は、DESIGNARTの公式Instagram アカウントをレジでご提示いただいた方に、ドリンク1杯のご注文につき、ブルーボトル羊羹を1点プレゼントという特典もあり、多くの方にお楽しみいただきました。六本木店ではデザイナーの進藤篤と織部製陶株式会社によるコラボレーション作品「DIG-DUG」をはじめ、青山店、渋谷店でも若手クリエイターによる注目の展示が行われました。



photo: Ryohel Maehara

OFFICIAL FLAG SANLORENZO JAPAN

DESIGNART TOKYO 2022 オフィシャルフラッグがSANLORENZO JAPANとのコラボレーションで登場。イタリアラグジュアリーヨットブランドであるSANLORENZOは船と“Design & Art”の融合によるライフスタイルの可能性を広げ、今回 SANLORENZO JAPANのプレローンチに合わせ、そのテーマを表現するプラットフォームとして南青山にMA5 GALLERYを設立。DESIGNARTはキュレーターとしてガラスや鏡をつかった独自の表見を探求するアーティスト井村一登を起用した展示も行った。

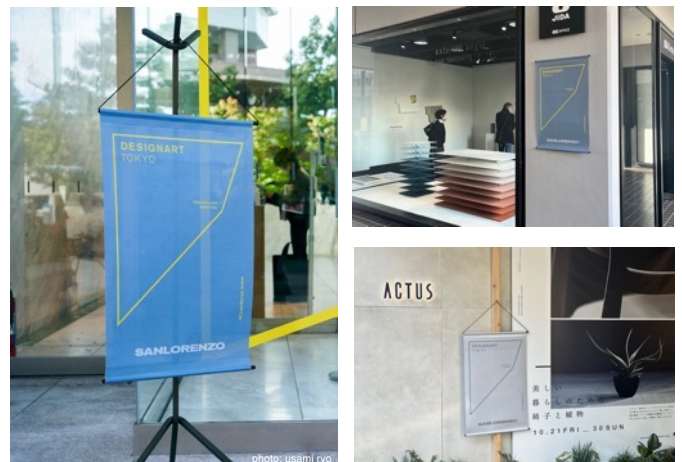


photo: usami ryo

AWARDS

アワード

UNDER 30

初年度より継続している若手クリエイター支援プログラム「UNDER 30」。今年もデザイナーの発起人たちが独自の視点で将来を期待される30歳以下のクリエイターを選出。デザイン・アート界の明日を担う受賞者の展示は話題となりました。



野村仁衣那：1993年生まれ。現代におけるモノと人との関わりの真の豊かさに焦点を当てた作品を発表している。



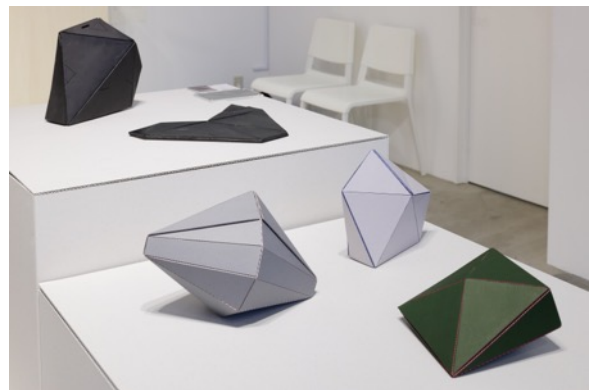
messagingleaving(Chialing Chang)：台湾を拠点とするクリエイティブスタジオ。アートやデザインと工業的な技術など様々な領域を横断し、独自の創造性を持つ作品を生み出している。



満永隆哉：HYTEK INC代表取締役、アーティスト。マスとストリート、デジタルとフィジカルとを繋ぎ合わせることを使命に活動している。



古館壮真：1995年生まれ。空間に内在するあらゆる関係性に着目し、独自のアプローチで制作を行う。デザイングループMUTISTANDARDのメンバー。



Karyn Lim：シンガポール生まれのインダストリアルデザイナー。素材の特性を活かしたクラフトデザインにテクノロジーを取り入れ、現代に適応したプロダクトを探求している。



CREATIVE CONFERENCE BRIDGE

クリエイティブ カンファレンス ブリッジ

Theme: 「未来へつなぐ発想術 NEXT CIRCULATION」

今年のDESIGNARTクリエイティブカンファレンスブリッジはトークテーマを「未来へつなぐ発想術 NEXT CIRCULATION」とし、国内外から第一線で活躍する方々が登壇。深刻な問題として全ての人がその向き合い方を真剣に捉えはじめている環境問題。SDGsやグリーンエコノミーなど、各国で様々な対応策が立てられています。これからの地球で私たちの未来において、どのような循環が必要なのか。「DESIGN&MATERIAL」「RELATION」「EDUCATION」の3つの観点で、ワールド北青山ビルでの展示の空間構成を担当した建築家である板坂諭、ブランディングディレクターの行方ひさこ、DESIGNART TOKYOの発起人でもある建築家のアストリッド・クラインがそれぞれの経験を踏まえ、身近な暮らしの視点から、街づくりの視点まで、未来へのアクションに繋げていくためのトークセッションとなりました。トーク後のドリンクパーティー（懇親会）では、KURA ONEの日本酒を味わいながら、登壇者やクリエイティブに関心ある来場者同士での交流が生まれました。

■登壇者

板坂 諭 | 建築家、プロダクトデザイナー
行方ひさこ | ブランディングディレクター
Astrid Klein | 建築家（モデレーター）

■CREATIVE CONFERENCE BRIDGE 2022 開催概要

名 称 CREATIVE CONFERENCE BRIDGE 2022
日 時 2022年10月14日(金)18:00-21:00
会 場 SHIBUYA QWS内スクランブルホール
東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号
渋谷スクランブルスクエア（東棟）15階
定 員 150名（先着順）
チケット 5,000円税込（協力特典KURA ONE日本酒を含む）

主 催 DESIGNART TOKYO 2022
共 催 SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）
協 力 CARL HANSEN & SØN、KURA ONE





EVENTS

イベント

DESIGNART TOKYO 2022の会期中にはさまざまな関連イベントが開催されました。今年はコロナ禍における人数制限も緩和され、出展者主催のローンチパーティや、トークイベント、職人を招いてのワークショップなどフィジカルで開催するイベントも積極的に行われ、多くの来場者で賑わいました。

OFFLINE

PechaKucha Night x DESIGNART TOKYO Special at Shibuya QWS

10/22 (土) に行われたPechaKucha Nightは、DESIGNART TOKYO Specialとして、U 30の受賞者である野村仁衣那、古舘壮真、Karyn Limがプレゼンターとして登壇。

さらには倉本仁、Claesson Koivisto Rune、Studio Swine、武田清明、BCXS、古舘壮真ら多彩なデザイナークリエイターも参加し、多くの来場者で盛り上がりました。



photo: Brian Scott Peterson

OFFLINE

ONLINE

Today at Apple at Apple Store 丸の内

トップクリエイターによるApple製品の活用法など創造性をビジネスに生かすためのヒントとなる無料セッション。

DESIGNART TOKYOの期間中は建築家、プロダクトデザイナーの板坂諭による「デザインラボ：板坂諭に学ぶビジネスに活かせるデザインコンセプト」、プロダクトデザイナーの秋山かおりによる「デザインラボ：秋山かおりに学ぶ色と素材の魅力」のセッションを行い、デザインコンセプトや色と素材がもつ魅力について語りました。



OFFLINE

FEEL HOTEL TOGETHER

at all day place

初日にはアーティストによるライブペインティングを行い、その後は来場者がインスピレーションで選んだ色を色付けして完成する作品を展示。10日間で257名の来場者が参加し作品が完成。その他にもアップサイクルアートイベントとして裂き織りのワークショップや、植物の状態からアロマオイルへ蒸留をおこなうイベントなどを開催しました。

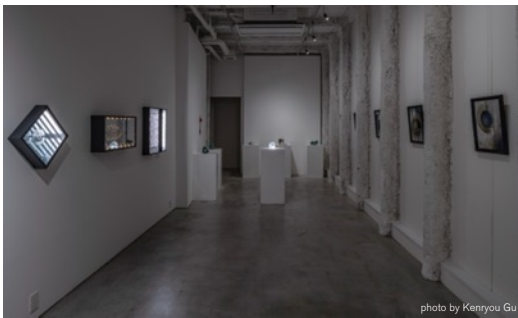


SALES RECORD

販売実績

総額 約3,000万円 (10月21日~10月30日の期間)

今年はサステナブルな素材や革新的なテクノロジーを用いた製品や作品が多く出展されました。未だ開発段階であり、コンセプトモデルやプロトタイプ
の展示も多く、未来のスタンダードになるであろう多くの新しいアイデアがビジネスへとステップを進みました。

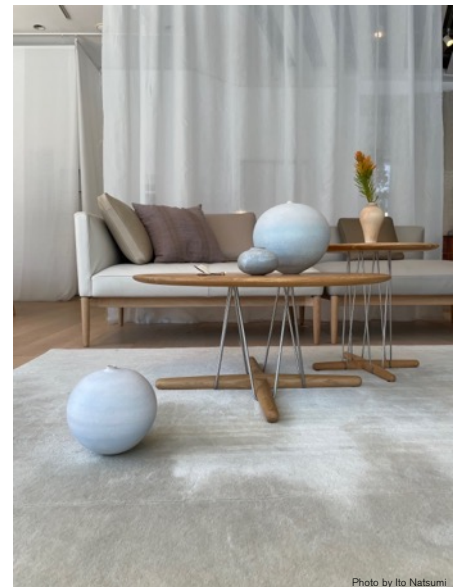


『Æ/∞』 井村一登

at MA5 GALLERY / SANLORENZO JAPAN



VITRO / RYOJI TAKAHASHI
at Common



Ando Yuka Exhibition "Colour Atlas"
at Carl Hansen & Søn



COSONCO QS First Exhibition
at polygon Aoyama



EXHIBITORS

出展者

CREATORS

AA YAMAMOTO
ambi
Ambientec / Satoshi Kawamoto / Nao Tamura
Ando Yuka
Ao.
ARIAKE with LE KLINT / Bang&Olufsen /
BELAIR LAB
Atsushi Shindo
Ayame Ono
BASF x COMANY
caltough
Chrisitan Hidaka & Takeshi Murata
COSONCO QS / Jin Kuramoto
Daisuke Yamamoto
ExMetaClub X tv asahi
FUJIFLM design
FUTURE GATEWAY
Hiroto Yoshizoe
Ishinomaki Laboratory
IZAWA CORPORATION
Julian Opie
Karyn Lim
Ken Omae / Saori Takeuchi / Yuhi Nishijima /
Koh Uehara / Yuki Ban
Kinya Adachi
Konel
LandLoop X GELCHOP / BCXSX
Mai Suzuki
Mai Takeda
MANAMI Numata
Maruhei Timber X tossanaigh
messagingleaving
Miki Sato
New TRASHditional Craft
ninanomura
nooca
NORIKO HASHIDA DESIGN XNUNOUS
O'Tru no Trus
OKURAYAMA STUDIO X KAARON STUDIO
Orna Tamir Schestowitz
Osamu Yokoyama / Ayame Mikagi /
Kentaro Sato / Kiyo Hasegawa /
Kanijo Moriyama (and 15 other artists)
PAPER PARADE
PATIO PETITE / TORAFU ARCHITECTS /
SUPPOSE DESIGN OFFICE
Perrier-Jouët Global Artistic collaboration
with Garance Vallée

Poltrona Frau / LLADRÓ <Jaime Hayon>
quantum X Stratasy
ranto
RISA MURAKAMI
ryota kuwakubo / nomena
Ryuichi Kozeki
SAKI TAKESHITA
SANLORENZO Japan / KAZUTO IMURA
Sarahbel
SDANLEY DESIGN WORKS
Seymour Chwast
Shinnosuke Harada / Junichi Ishigaki / Ryo Suzuki
Shioka Okamoto
Simon Fujiwara
SOHMA FURUTATE
SOZAI CENTER
Studio POETIC CURIOSITY
studio SHOKO NARITA X januka jewelry
studio SHOKO NARITA X UNOU JUKU
TAFNEX by MITSUI CHEMICALS, INC. X
JUNICHIRO YOKOTA STUDIO
Taiwan Design Research Institute
Takaya mic Mitsunaga
Takuya Osawa / Machiko Soshin Hoshina
Taroma
Tatsu Ogata / Hiroki Furukawa
teamLab
Toad & Hound
TOKYO SHOW HOUSE
UO
verox.
vitro
Yuichiro Tani
YUJI OKITSU
Yuma Kano
3710Lab X Sae Honda

BRANDS / COMPANIES / GALLERIES

A Lighthouse called Kanata
ACTUS
all day place shibuya
ANB Tokyo
Apple Marunouchi
AREA Tokyo
Artek Tokyo Store
Blue Bottle Coffee Aoyama Cafe
Blue Bottle Coffee Roppongi Cafe
Blue Bottle Coffee Shibuya Cafe

BUNKITSU Roppongi
CARL HANSEN & SØN FLAGSHIP STORE TOKYO
Cassina ixc.
CIBONE & HAY
CLAY studio 1
Common
CondeHouse Tokyo Shop
COWORKING SALON SLOTH JINNAN
Création Baumann TOKYO SHOWROOM
elephant STUDIO
FLEXFORM
Courtyard HIROO
GINZA innit
GINZA MAISON HERMÈS Le Forum
Hibiya OKUROJI
HIRATA CHAIR TOKYO
Hz - SHIBUYA
ITOCHU SDGs STUDIO
januka
JIDA Design Museum
Kaisu
Knoll
LIGHT BOX STUDIO AOYAMA
littala
MA5 GALLERY
MAHO KUBOTA GALLERY
Maker's Watch Knot Omotesando Gallery Shop
Marked at SHIBUYA CAST.
moln
Oak Cube
OMOTESANDO FUTONTEN
Omotesando Hills
PERVERZE THE EMBODIMENT STORE
Poltrona Frau Tokyo Aoyama
polygon Aoyama
PRADA JAPAN
Ritzwell
Roche Bobois
ROLF BENZ TOKYO
ROYAL FURNITURE COLLECTON
Seiko
sequence MIYASHITA PARK
SHARE GREEN MINAMI AOYAMA
SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE
SHIBUYA SKY
STUMP BASE
TAKEO Aoyama Mioncho
THE ANOTHER MUSEUM ARTIDA OUD
The Ritz-Carlton, Tokyo
Tokyo Midtown
Tokyu Plaza Shibuya
UN GRAIN
verox.
VOLVO STUDIO
WORLD Kita-Aoyama Bldg.

OPENING CEREMONY

開会式

DESIGNART TOKYO 2022 開幕

10月21日（金）at ワールド北青山ビル

10月21日(金)の初日には、メインエキシビションの「NEXT CIRCULATION」とインフォメーションセンターとなったワールド北青山ビルにて、メディア関係者を対象としたオープニングセレモニーが開催されました。コロナ禍の規制も緩和された今年は約90名が参加し、海外からも出展者の Orna Tamir Schestowitz、BCXSYのBoaz Cohenも来日し数年ぶりに国際色豊かなセレモニーとなりました。代表の青木昭夫や発起人であるAstrid Kleinからは、発展的な未来のクリエイティブへの期待の言葉が述べられ、明るい10日間のフェスティバルの幕があがりました。

またセレモニーに続いて、台湾デザイン研究院院長の張基義院長や板坂諭、小関隆一、OKURAYAMA STUDIO×KAARONなど全10組のNEXT CIRCULATION出展クリエイターによる作品紹介や、三井化学株式会社とJUNICHIRO YOKOTA STUDIOがと共同開発をした作品発表、Amazon EchoやDFNSなど会場を彩る製品のプレゼンテーションなどがおこなわれました。





t design & art festival 2022

w www.designart.jp

m info@designart.jp

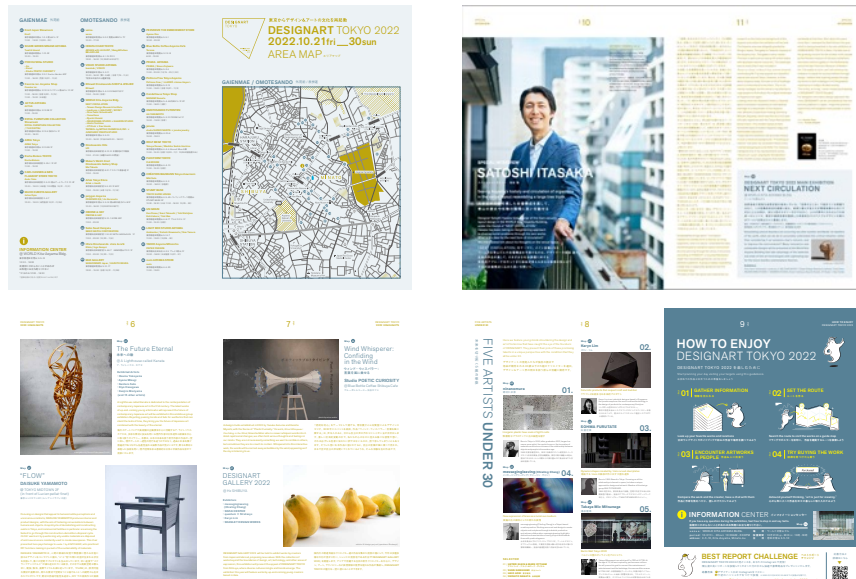
TOOLS

制作物

OFFICIAL GUIDEMAP

昨年から多くの情報をWebサイトにデジタルシフト。オフィシャルガイドマップはシンプルな見やすさに重点を置き、より回遊に便利な地図情報を充実させ、出展会場のハイライトやスペシャルインタビューなどを掲載しました。

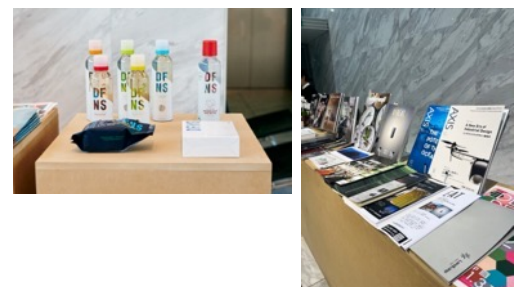
20,000部を発行し、各展示会場のほか都内各地で配布されました。



INFORMATION CENTER

例年に続き今年もインフォメーションセンターをワールド北青山ビルに設置。オフィシャルガイドマップや各出展者のフライヤーの配布、近隣の展示情報の案内などの展開をしました。

また地球環境に配慮しながら、フットウェア、アパレル製品のケアができる、持続可能なライフスタイルケアブランド DFNS の製品紹介ブースも設置。来場者には実際に製品を試していただきました。



OFFICIAL SIGNAGES

今年もDESIGNART TOKYOの公式カットティングシートやフラッグを各展示会場に設置していただき、回遊する来場者の目印となりました。

また、インフォメーションセンターの会場スタッフはDESIGNARTロゴを大きくあしらったオフィシャルTシャツを着用し、お客様をお迎えました。



ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

WEBサイトをリニューアルし、展示情報へのアクセスを強化。 SNSでの積極的な情報発信やMapと連動した回遊性の向上。

今年はWEBサイトを大幅にリニューアル。展示情報へのアクセスのしやすさ、オリジナルのインタビューページなどさらにオンラインコンテンツの充実を図りました。またスマートフォン対応UIを強化し、来場者がさらに興味のある会場を回遊しやすいようにデザインをアップデートしました。

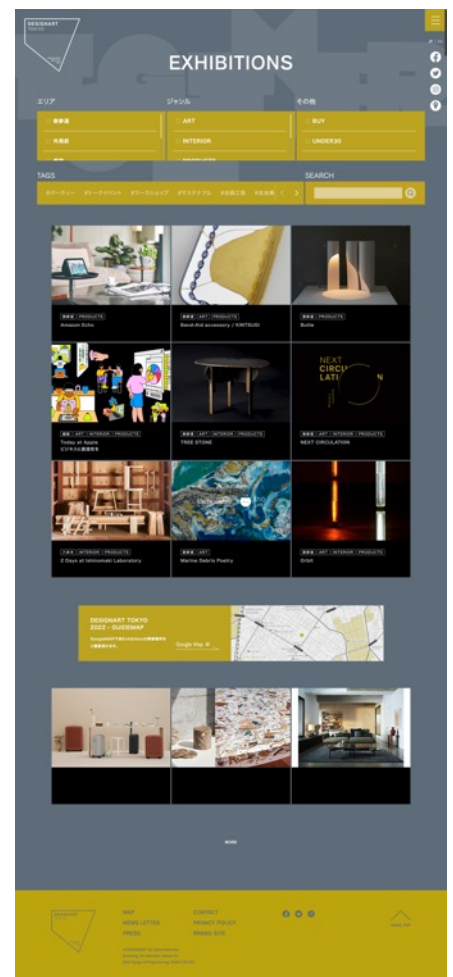
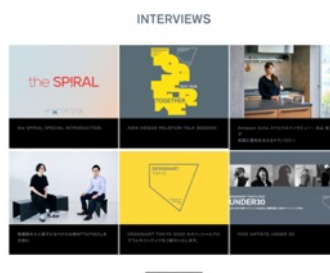
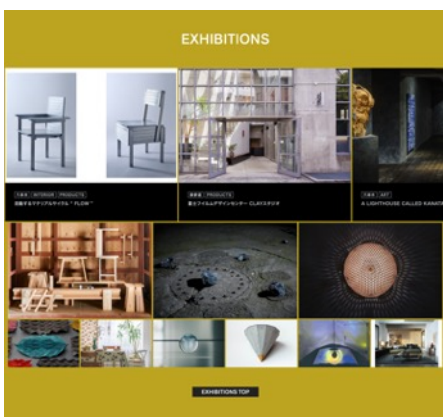
またSNSでは、エリアごとの出展者の紹介、MAP No.と連動した投稿や出展者の情報の共有など、積極的に来場者とのコミュニケーションを行うことでフェスティバル全体を盛り上げました。

OFFICIAL WEB SITE

出展者情報、クリエイターやブランドのプロフィール、イベント情報などはもちろん、エリアやタグなどの検索機能を採用し、来場者が興味のある展示情報へアクセスしやすいUIへ刷新。

トップページには注目展示やコンテンツの画像をスライド掲載し、よりビジュアルに訴える構成となりました。

DESIGNART TOKYO 2022 イベントサイト ページビュー数：約162,000 PV
(8月18日～11月25日の期間実績)





t design & art festival 2022

w www.designart.jp

m info@designart.jp

ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

OFFICIAL SOCIAL MEDIA

DESIGNART TOKYOの公式SNSアカウントでは、会期前に全出展者をエリアごとに紹介したり、メディアパートナーやオフィシャルコンテンツの紹介などをおこないました。会期中には実際の展示風景を撮影し、Map no.と連動させて投稿。また、昨年に引き続き取材チームが各会場をまわり、会場の様子や情報をアップ。出展者からのタグづけ投稿も積極的にストーリーなどで発信し、大幅なフォロワー数増加に繋がりました。

(*数字は全て8月18日～11月25日実績)

Instagram

リーチ：1,784,483

フィード：200投稿、5,825いいね

ストーリーズ：683投稿、238,420リーチ

フォロワー新規増加数：2,116人

Facebook

リーチ：365,000

フィード：200投稿

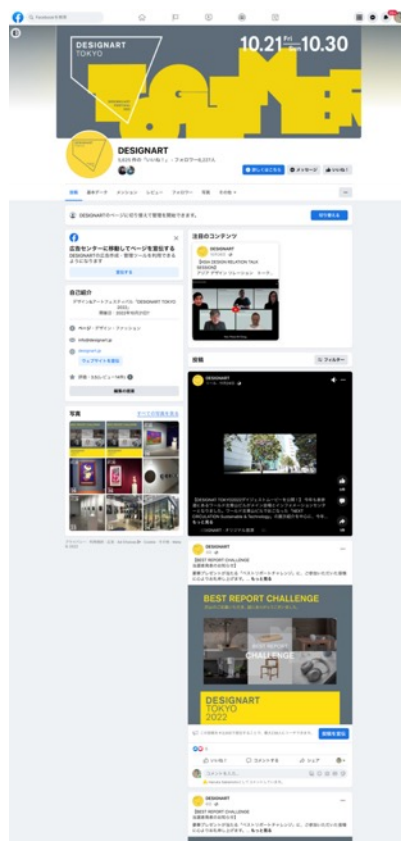
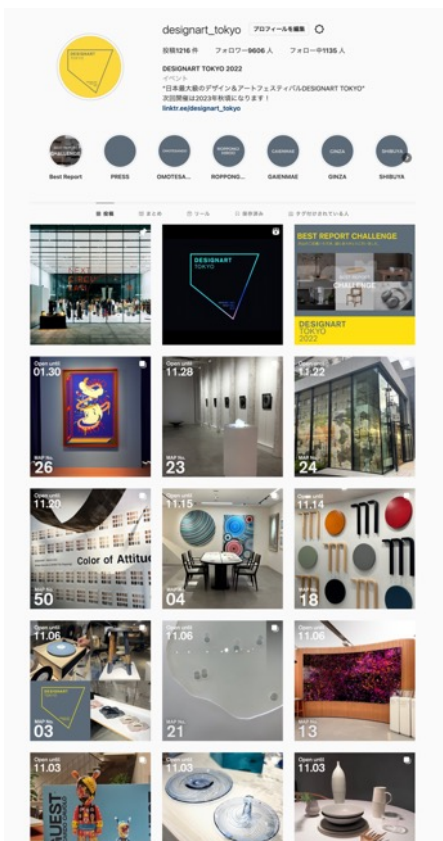
フォロワー新規増加数：65人

Twitter

リーチ：82,303

投稿数：180

フォロワー新規増加数：215人





ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

Instagram LIVE REPORT

会期中にInstagramのライブ配信を利用し、リポーターが出展会場でクリエイターに直接インタビューをしながら作品を紹介するLIVE REPORT。

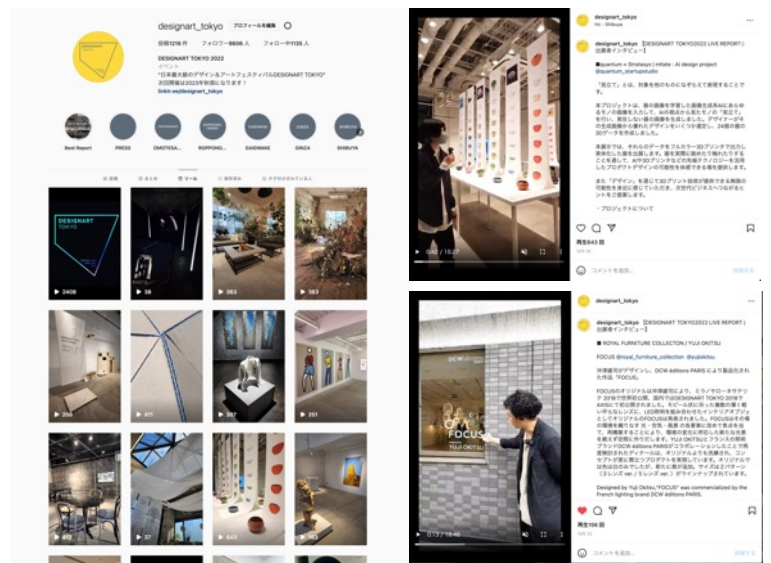
今年のリポーターはDESIGNART TOKYO発起人である青木とインテリアスタイリストの川合将人、株式会社HEART CATCHの西村真理子、インフルエンサーのノ瀬唯を新たなリポーターとして起用し、より専門性の高いレポートを目指しました。展示を見るだけではわからない、その奥にあるストーリーを届けることでさらにクリエイターや作品の理解に繋がるレポートとなり、ライブ配信後も視聴回数が増えました。

LIVE REPORT合計リーチ数：12,125

LIVE REPORT合計視聴回数：7,650

*LIVE REPORTはDESIGNART TOKYOの公式Instagramアカウント(@designart_tokyo)よりアーカイブにてご覧いただけます。

*数値は11月25日現在のものです



INTERVIEW VIDEO

今年は初の試みとして、DESIGNARTが出展者とともにインタビュー動画を作成しました。

出展にかける思いや、作品制作の背景など、実際に制作現場へ伺い撮影～制作までを行いました。

制作した動画は事前に公式SNSで公開し、多くの方に視聴いただき、出展前のPRへと繋がりました。

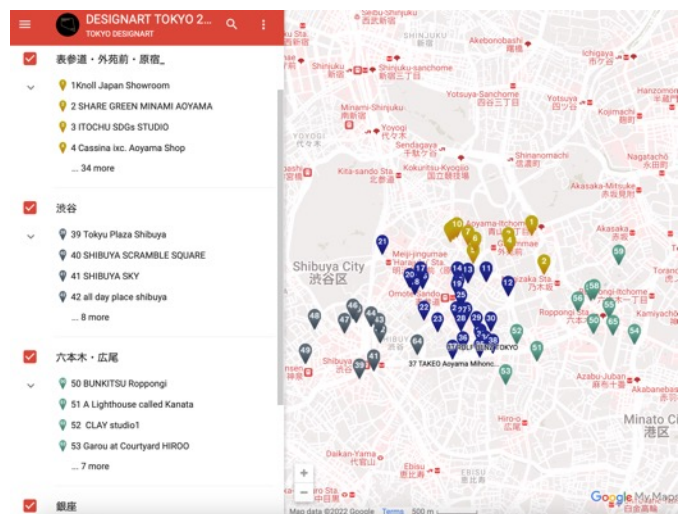


ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

Google MAP

オフィシャルWebサイトからは専用Google Mapにリンクしており連動したMap no.でスムーズな回遊をサポート。17万を超えるビューを記録しました。展示情報へのアクセスも可能となり、より効率的にフェスティバルを楽しむことが出来ました。



BEST REPORT CHALLENGE

来場者がDESIGNARTの展示やイベントを楽しみながらSNS上で発信する来場者参加型のコンテンツ、ベストレポートチャレンジを昨年に引き続き実施。投稿を見た多くの方にDESIGNART TOKYOを知ってもらうきっかけにもなりました。昨年からはInstagramに焦点を絞り、集まった200件を超える投稿の中から、熱量のあるレポートをしてくださった方々に豪華賞品をプレゼントしました。

協力：アルフレックスジャパン / KEF Japan / Ambientec / Soda Stream / ブルーボトルコーヒージャパン合同会社 / Amazon Echo



1名



1名



3名



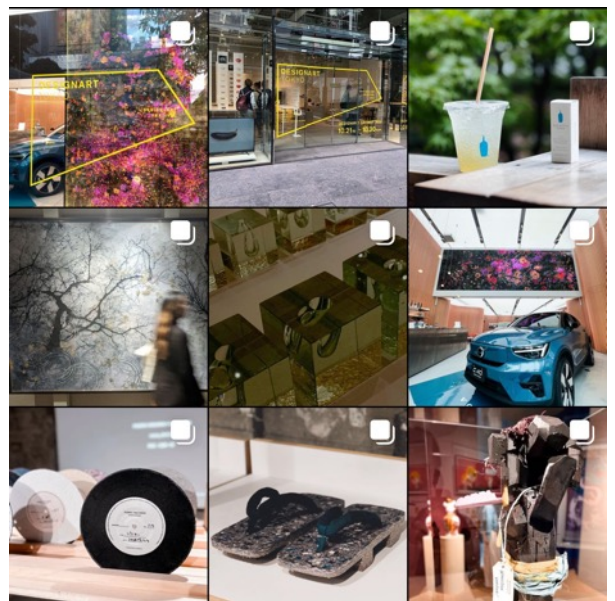
2名



1名



2名





PRESS

掲載実績

掲載数：約528記事（新聞 / 雑誌 / WEB / ラジオ / SNS）

国内外メディアパートナー：22媒体

DESIGNART TOKYOのPRチームは、各媒体とのリレーションシップを深めながら、より一層発信力を強めています。今年も、プレスリリースや SNS、様々なデジタルコンテンツを横断しながら、また、出展クリエイター・ブランド・企業の皆さまとの連動のもと、情報発信を展開。11月28日現在、記事掲載数を昨年より少し増加させ、国内外の様々な媒体にフェスティバルについて告知・レポートいただくことができました。メディアパートナーは昨年の17媒体から22媒体に増え、国内外の感度の高いオーディエンスに向け広範囲に認知を広げています。

海外メディアに関しては、ここ数年パンデミックの影響によりメディア関係者の来日が叶わなかったが、今年は少しずつ来日も戻ってきており、海外メディアの日本のデザイン・アート業界への関心がうかがえました。インテリア・デザイン・アートにおいて影響力のある媒体との関係を深め、東京のデザイン・アートシーンの今を世界に向けて伝えることができました。

さらに各媒体やジャーナリスト等インフルエンサーによるSNS投稿も今年も多く、タイムリー且つパーソナルな内容の情報発信が見られたほか、出展関係者のテレビ番組、ラジオ出演、トークイベントへの参加など、発信方法の多様化も見られました。また、フェスティバル全体に関する記事のみならず、カンファレンス等の個別企画や、個別クリエイターへのインタビュー記事も数多く見られました。全体的に、実際に展示をまわり、取材密度の濃いレポート記事が増加しました。

メディアパートナー





t design & art festival 2022

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

国内メディア

装苑



AXIS



Beyond



WWD



Numero TOKYO



GINZA





t design & art festival 2022

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

海外メディア

Architecture hunter



Designart Tokyo 2022 Highlights

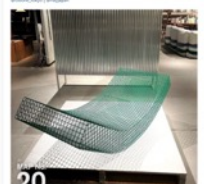
Designart Tokyo is a design and art festival that has functioned as an exhibition, connecting creatives throughout the city by building creativity and having the potential to change lives. It is a time when the city of Tokyo becomes a museum. This year's theme, TOGETHER, is about giving a message through designers, artists and manufacturers to give people a strong force to support this sea and make society better. Find below the highlights of the festival



SEA



FLEXFORM INDOOR COLLECTION



CIBONE



SAKE STAND

Wall paper



Designart Tokyo transforms the city into a museum of creativity



Designart Tokyo is a design and art festival that has functioned as an exhibition, connecting creatives throughout the city by building creativity and having the potential to change lives. It is a time when the city of Tokyo becomes a museum. This year's theme, TOGETHER, is about giving a message through designers, artists and manufacturers to give people a strong force to support this sea and make society better. Find below the highlights of the festival



Designart Tokyo 2022 Highlights



Designart Tokyo 2022 Highlights



Designart Tokyo 2022 Highlights

design anthology



DESIGNART Tokyo in Review



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights



DESIGNART Tokyo 2022 Highlights

designboom



DESIGNART Tokyo 2022 transforms japan's capital into an open-air museum this fall

DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'

DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'



DESIGNART Tokyo 2022: THIS YEAR'S THEME IS 'TOGETHER'

PRESS

掲載実績

紙媒体

ELLE DECO

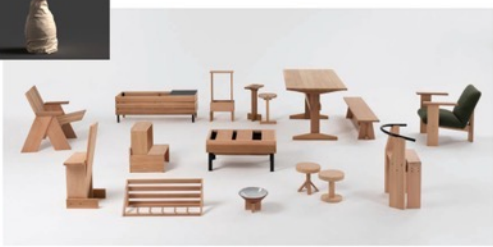
2022年11月28日



20

DESIGNART TOKYO 2022

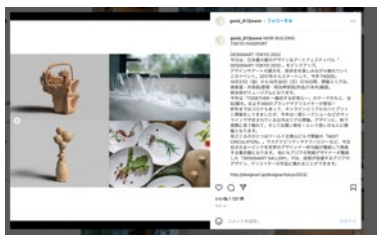
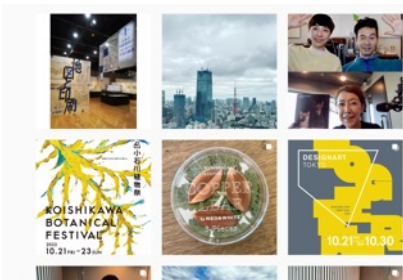
東京を舞台に繰り広げられる
デザインとアートの祭典
話題しながらデザインアートを盛り上げる「デザインアートフェスティバル」を、本誌を冠した専号のテーマは「TOGETHER-一緒に楽しむデザインアートフェスティバル」(NEXT: CIRCULAR FRICTION)は、スタジオアップ&マタクラウンと共催で開催した作品が満載。展覧会、講演会、ワークショップ、ライブパフォーマンス、特別企画など盛りだくさん。最新鋭のデザインアートフェスティバルを、ぜひご覧ください。



ラジオ

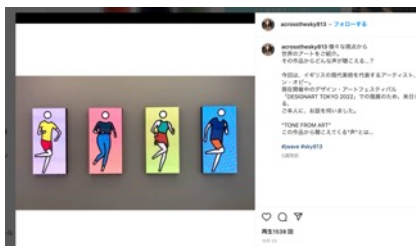
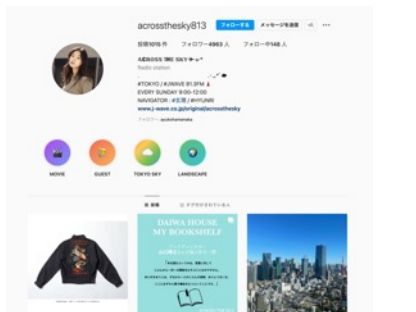


J-WAVE 81.3FM



ACROSS THE SKY
sunday 9:00am to 12:00pm

J-WAVE 81.3FM



GRAND MARQUEE J-WAVE 81.3FM



The Japan Times

At Designart Tokyo 2022, creatives fabricate new aesthetic realities

By [Name]

This year, Designart Tokyo—the annual festival of design and art—opens its doors to a new generation of creatives. The festival, which runs from Oct. 21 to Oct. 23, is a celebration of the art and design world. It features a variety of exhibitions, performances, and workshops. The festival is a platform for creatives to showcase their work and connect with others in the industry.



Workshop attendees work on a piece of art during the festival.



Workshop attendees work on a piece of art during the festival.



Workshop attendees work on a piece of art during the festival.

Sustainable design
The festival also features a focus on sustainable design. Exhibitors are encouraged to use eco-friendly materials and practices. This includes using recycled materials, reducing waste, and using energy-efficient lighting. The festival is a platform for creatives to showcase their work and connect with others in the industry.

New techniques
The festival also features a focus on new techniques. Exhibitors are encouraged to use innovative materials and practices. This includes using 3D printing, digital art, and interactive design. The festival is a platform for creatives to showcase their work and connect with others in the industry.

Future furniture
The festival also features a focus on future furniture. Exhibitors are encouraged to use innovative materials and practices. This includes using recycled materials, reducing waste, and using energy-efficient lighting. The festival is a platform for creatives to showcase their work and connect with others in the industry.

The Japan Times

PAGE: 12 K

その他紙面掲載予定紙 (11月28日現在)

商店建築 | 2023年1月号

ONBEAT vol.18 | 2023年4月号



t
design & art festival 2022

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

CREDIT

クレジット

ORGANIZER

デザイナーズトーキョー実行委員会

SUPPORT

J-WAVE 81.3 FM

SPONSORS

Sanlorenzo
Perrier-Jouët
Amazon echo
ARTIDA OUD
DFNS
arflex
Blue Bottle Coffee Japan
R100 tokyo
ワールド株式会社

SPECIAL COOPERATION

RaNa design associates, inc

COOPERATION

株式会社中川ケミカル
株式会社ノムラメディアス
株式会社エフ
KURA ONE (アイディーテンジャパン株式会社)
渋谷キューズ
PANECO® (株式会社ワークスタジオ)
武蔵塗料ホールディングス株式会社 (バイオペイント)
株式会社ワールドプロダクションパートナーズ
株式会社ワールドスペースソリューションズ
カール・ハンセン&サン
ソーダストリーム株式会社
株式会社アンビエンテック
株式会社KEF JAPAN
all day place shibuya
一般社団法人インテリアスタイリング協会
株式会社GLORY
株式会社リマーレ

MEDIA PARTNERS

Architecture Hunter
ARTnews JAPAN
artprice.com by ARTMARKET Web
Web マガジン AXIS
Beyond magazine
知財図鑑
design anthology
designboom
dezeen
エル・デコ デザインウオーク2022
merci magazine
ONBEAT
リアルリビング&インテリア
SHIFT

商店建築

Spoon & Tamago
テクチャーマガジン
ててて協働組合
the Artling
タイムアウト東京
World Architecture Community
Curiosity R100 tokyo Magazine

FOUNDERS

Akio Aoki
Shun Kawakami
Mark Dytham
Astrid Klein
Hiroshi Koike
Okisato Nagata

DESIGNART TOKYO COMMITTEE

Akio Aoki
Yoko Yamazaki
Ryo Sekido
Haruka Sakamoto
Yasuyuki Fukatsu
Midori Ichiki
Ayako Yoshinoya
Takashi Ono
Azusa Takaie

PRESS

Hitomi Kodaka
Nana Hashimoto

KEY VISUAL

Ikki Kobayashi

OFFICIAL GUIDEMAP

Shun Kawakami artless Inc
Ayako Shien artless Inc
Ryohei Sato SHINSHITSU
Toshiaki Ishii river
Kumiko Sato
Yoko Dobashi
Keiko Kusano
Yosuke Owashi

OFFICIAL WEBSITE

RaNa design associates, inc

OFFICIAL PHOTOGRAPHER

Nacása & Partners

TRANSLATOR

Fraze Craze Inc.

ILLUSTRATOR

Hama-House

REATIVE WORKS

Kumiko Sato
Yoko Dobashi
Keiko Kusano
Reiko Imamura
Yosuke Owashi
Takuya Yamauchi
Akira Kawachi
Kento Ohta
Yoshihiro Kamemura
Yusuke Ono
studiolab404.co
Satsuki Fujita

SUPPORT MEMBERS

Gwenaël Nicolas
Jungo Kanayama
Masaki Yokokawa
Masamichi Toyama
Masatoshi Kumagai
Mizuyo Yoshida
Tatsuro Sato
Yoshiko Ikoma

SPECIAL THANKS

Yukinari Hisayama
Yuko Yoshikawa
Masato Warita
Jin Kuramoto
Tamae Hirokawa
Yuko Nagayama
Wakako Tanjo

SPECIAL SUPPORTERS

株式会社 K3 君和田重則
1moku suga.
kawazen Leather
建築設計事務所バケラッタ
Eriko Numajiri
望月暢彦
梶谷拓生
安田造船所
太刀川英輔
株式会社緑演舎 大山雄也
株式会社ササキ工芸
岩村誠一郎
木下謙一 (RANA UNITED)
大蔵山スタジオ株式会社
TIMBER YARD

EVERLASTING MEMBER

Dai Takeuchi river